

第15章 その他

15.1 準備書から評価書への変更内容

準備書から評価書への主な変更内容は、表 15-1 に示すとおりである。

表 15-1(1) 準備書から評価書への変更内容一覧

該当箇所	準備書ページ	評価書ページと 変更内容	修正・ 変更理由
対象事業実施区域 の図面全般	—	対象事業実施区域の図面全般 第一期埋立地の範囲を見直した。 なお、当該埋立地の埋立地面積及 び埋立容量に変更はない。また、 当該変更により評価対象である各 環境要素の予測結果に影響はな い。	第一期埋立地の範 囲に誤りがあった ため。
第2章	—	第2章全般 埋め立て処分実績、埋立可能容量 等を最新の実績に基づき更新し た。	—
第2章 事業の目的 及び内容 2.1 事業の目的 2.2 事業の内容 2.2.4 事業の概要	P2.2-1、 P2.2-7	P2.1-2、P2.2-7 航空写真を最新の写真に更新し、撮 影年月及び出典を記載した。	知事意見による。
第2章事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.4 事業の概要 2.2.10 廃棄物受入 計画	P2.2-6、 P2.2-23	P2.2-6 「表 2.2-3 年間埋立処分量」の注 釈に覆土を含まない数値であるこ とを追記した。 P2.2-23 「表 2.2-8 月別廃棄物受入量」の 注釈の注釈に覆土を含んだ数値で あることを追記した。	環境影響評価審査 会意見による。
第2章 事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.8 主な工事概 要	P2.2-17～ P2.2-19	P2.2-17～P2.2-19 「図 2.2-13 工事の概要」で、構築 する堰堤の位置を修正した。 「②遮水シートの敷設及び漏水検 知装置の設置」で、「下層遮水シー ト」を「上層遮水シート」に修正し た。 「③-1 雨水排水工(キャッピング)」 の、キャッピングシートの厚さを t=1mm から t=1.2 mmに修正した。キャ ッピング範囲、面積を修正した。 「③-2 雨水排水工(雨水排水管)」 の、雨水排水管の位置を修正した。 「④浸出水集排水管の設置」の、浸 出水集排水管の配置を修正し、排水 の処理に関する説明文を追加した。	工事計画の変更の ため。

表 15-1(2) 準備書から評価書への変更内容一覧

該当箇所	準備書ページ	評価書ページと 変更内容	修正・ 変更理由
第 2 章 事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.8 主な工事概 要	P2.2-20	P2.2-20 「表 2.2-6 工事工程表」を修正した。 準備工・後片付け工を除く準備書の 工期に、雨休率の増加分（約 1.238 倍）を乗じ算出した。その結果、19 ヶ月→24 ヶ月に工期が延長した。 なお、月あたりの建設機械や資材及 び機械の搬入に用いる車両の稼働 台数は予測に用いた台数よりも減 ることとなり、準備書及び本評価書に 記載した建設機械の稼働、資材及び 機械の搬入に用いる車両の運行に 伴う大気質、騒音、振動、温室効果 ガス等の予測結果を上回ることとは ない。	山形県で定めてい る休日と天候等によ る作業不能日の 年間の発生率を指 す雨休率の改定（雨 休率：0.67→0.83 改定）のため。
第 2 章事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.9 建築・工作物 等	P2.2-21	P2.2-21 大腸菌の処理基準を見直した。 浸出水調整槽の最大容量を追加した。 処理基準に関する説明文を追加した。	処理基準の改定のため。
第 2 章事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.13 整備後の環境 保全計画等	P2.2-25、 P2.2-29	P2.2-24 図 2.2-16 排水処理フローに「タイ ヤ洗浄水」を追加した。 P2.2-25 埋立地に出入りする車両のタイヤ 洗浄水の処理を浸出水処理施設で 行っていることを記載した。	環境影響評価審査 会意見による。
第 2 章事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.11 事業の給排水 等設備計画	P2.2-24、 P2.2-26	P11-82 第二期整備範囲と第一期整備範囲 を繋ぐ排水設備が 1 本であること に対して、定期的に管内部の高圧洗 浄等により目詰まりの防止を図る ことを追記した。	環境影響評価審査 会意見による
第 2 章事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.11 事業の給排水 等設備計画	P2.2-24、 P2.2-27	P2.2-25 雨水は側溝（開渠：U 字溝）により 集水され、3 箇所の放流口から酢川 へ放流されることを追記した。 P2.2-27 「図 2.2-17(2) 集排水設備計画平 面図（雨水等集排水設備）」の凡例 に、「（側溝（開渠：U 字溝）」を追記 した。また準備書で示した雨水放流 口以外に、2 箇所存在する放流口の 位置を追記した（計 3 箇所）。また、 雨水排水管の配置を、本事業完了時 の配置に修正した。	環境影響評価審査 会意見による

表 15-1(3) 準備書から評価書への変更内容一覧

該当箇所	準備書ページ	評価書ページと 変更内容	修正・ 変更理由
第 2 章事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.11 事業の給排水等設備計画	P2.2-26	P2.2-26 「図 2.2-17(1) 集排水設備計画平面図（浸出水集排水設備）」の第二期整備範囲の浸出水集排水管の配置を修正して既存集排水管との接続部の拡大図を追加した。	工事計画の変更のため。
第 2 章 事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.15 整備後の埋立計画	P2.2-30	P2.2-30 「表 2.2-10 整備後の処分場の埋め立て計画」を修正した。	工事完了時期の変更に伴う埋立期間等の見直しのため。
第 2 章 事業の目的 及び内容 2.2 事業の内容 2.2.16 工事の実施に係る期間及び工事工程の概要	P2.2-30	P2.2-30 「表 2.2-11 事業工程表」を修正した。	実施設計と建設工事工程の見直しのため。
第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 自然環境の把握 3.1.3 水質	P3.1-19～ P3.1-21	P3.1-19～P3.1-21 「表 3.1-18 須川（睦合橋）での水質調査結果概要」、「表 3.1-19 酢川（須川流入口）での水質調査結果概要」、「表 3.1-20 酢川水質調査結果」の六価クロムの基準値を修正した。	現行の基準に修正した。
第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 自然環境の把握 3.1.3 水質	P3.1-22、 P3.1-23	P3.1-22、P3.1-23 「表 3.1-21 上野最終処分場入流水水質測定結果（令和 3 年度）」の六価クロム化合物の基準値を修正した。 注釈の自主基準値の内容、大腸菌の基準について追記した。	六価クロム化合物は基準値の見直しが令和 7 年 4 月に行われたため。
第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 自然環境の把握 3.1.3 水質	P3.1-26	P3.1-26 「表 3.1-22 上野最終処分場地下水水質測定結果（令和 4 年度）」の六価クロム化合物とトリクロロエチレンの基準値を修正した。	六価クロム化合物の基準値の見直しが令和 7 年 4 月に行われたため。 トリクロロエチレンは現行の基準に修正した。
第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 社会状況の把握 3.2.6 環境整備の状況	P3.2-24	P3.2-24 「表 3.2-22 対象事業実施区域の周囲における産業廃棄物処理業者の事業場の状況」の、株式会社ミツワ企業の取り扱う産業廃棄物を汚泥・廃油に修正した。	—

表 15-1(4) 準備書から評価書への変更内容一覧

該当箇所	準備書ページ	評価書ページと 変更内容	修正・ 変更理由
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 社会状況の把握 3.2.6 環境整備の状況	P3. 2-24、 P3. 2-25	P3. 2-25、P3. 2-26 「表 3. 2-22 対象事業実施区域の周囲における産業廃棄物処理業者の事業場の状況」に、産業廃棄物処理事業者の事業場（埋立終了）を追加。	知事意見による。
第9章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法 9.2 水環境 9.2.1 水質	P8. 2-2	P9. 2-2 「図 9. 2. 1-1 水質調査地点位置図」に水質予測地点を追記した。また、産業廃棄物処理業者の事業場と、各事業場からの放流水の放流地点を追記した。	知事意見による。
第9章 環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法 9.3 土壌環境・その他の環境 9.3.1 地形及び地質	P8. 3-2	P9. 3-2 「図9. 3. 1-1 地形及び地質調査地点位置図」の地下水調査地点 No. 2 の位置を正しく修正した。	—
第10章 環境影響評価の結果 10.1 大気環境 10.1.1 大気質	P9. 1-37、 P9. 1-38、 P9. 1-51、 P9. 1-53	P10. 1-38、P10. 1-39、P10. 1-53、 P10. 1-55 強風時に土工事を中止する基準を、上野採取処分場の設置の風速計で瞬間風速 15m/s とすることを記載した。	—
第10章 環境影響評価の結果 10.2 水環境 10.2.1 水質	P9. 2-8、 P9. 2-18、 P9. 2-20、 P9. 2-21	P10. 2-8 「表 10. 2. 1-14 富栄養化に係る事項（T-P、T-N）測定結果」の燐含有量の平常時第5回目、No. 3 地点の結果を正しい測定結果（0. 26mg/L）に修正した。窒素含有量の平常時第2回目、No. 3 地点の結果を正しい測定結果（0. 84mg/L）に修正した。 P10. 2-18 「表 10. 2. 1-28 河川流量及び水質のバックグラウンド」の燐含有量 No. 3 の値を正しい値（0. 26mg/L）に修正した。また、「表 10. 2. 1-29 浸出水処理施設の稼働に伴う水の濁り（SS）、水の汚れ（BOD）、富栄養化（T-P、T-N）及び有害物質等（ダイオキシン類）予測結果（予測地点）」の燐含有量 No. 3 の値を正しい値（0. 27mg/L）に修正した。 P10. 2-22、P10. 2-23 燐含有量のバックグラウンド値及び予測結果の修正に伴い、関連箇所を修正した。	—

表 15-1(5) 準備書から評価書への変更内容一覧

該当箇所	準備書ページ	評価書ページと 変更内容	修正・ 変更理由
第 10 章 環境影響 評価の結果 10.2 水環境 10.2.1 水質	—	P10. 2-3～P10. 2-6 P10. 2-17 上野最終処分場の放流水が適合する必要がある基準は、上野最終処分場の「一般廃棄物処理施設設置届出書」に記載した基準、及び今後提出する予定の「一般廃棄物処理施設変更届出書」に記載する基準であることから、基準に関する記載を修正した。	—
第 10 章 環境影響 評価の結果 10.2 水環境 10.2.1 水質	—	P10. 2-19、P10. 2-20 累積的影響について、周辺の既設処分場を追記し、各処分場から河川への放流地点と水質調査地点の位置関係を示し、各施設のモニタリング結果等をもとに適切に評価した。	知事意見による
第 10 章 環境影響 評価の結果 10.2 水環境 10.2.1 水質	P9. 2-20	P10. 2-21 水収支の負荷が大きくなる廃棄物について、し尿処理施設から排出される脱水汚泥等であることを追記した。	環境影響評価審査 会意見による
第 10 章 環境影響 評価の結果 10.3 土壌環境・その他の環境 10.3.1 地形及び地質	P9. 3-5、 P9. 3-15	P10. 3-5、P10. 3-15、P10. 3-17 準備書で示した「G'」は「火山灰質砂混じり礫（風化）」であり、準備書 P9. 3-17 に示す「G2'」と同一であるため、評価書では「G2'」に統一し、「図 10.3.1-2 地層断面図」（P10. 3-5）及び「図 10.3.1-9 酢川付近（旧処分場付近）の地下水位」（P10. 3-15）に凡例を追加した。 また、「図 10.3.1-2 地層断面図」（P10. 3-5）の A-A' の断面図、C-C' の断面図と南北の断面図が整合するように修正した。	環境影響評価審査 会意見による
第 10 章 環境影響 評価の結果 10.3 土壌環境・その他の環境 10.3.1 地形及び地質	—	P10. 3-20～P10. 3-27 対象事業実施区域における地すべりの可能性が低いことを、実際の調査ボーリングの結果に基づき記載した。	知事意見による
第 10 章 環境影響 評価の結果 10.7 景観 10.7.1 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 10.8 ふれあい活動の場 10.8.1 主要な人と自然とのふれあい活動の場	P9. 7-10、 P9. 7-11、 P9. 8-15	P10. 7-10、 P10. 7-11、 P10. 8-15 埋立地表面を覆う遮水シートを緑色とすることを記載した。	—

表 15-1(6) 準備書から評価書への変更内容一覧

該当箇所	準備書ページ	評価書ページと 変更内容	修正・ 変更理由
第 10 章 環境影響 評価の結果 10.11 温室効果ガ ス等 10.11.1 二酸化炭 素・メタン	P9.11-3	P10.11-3 「表 10.11.1-4 建設機械の稼働に 伴う CO ₂ 排出量（令和 8 年 6 月～8 月中旬）」の CO ₂ 排出量を、建設機械 の稼働が最大となる時期における 月当たりの CO ₂ 排出量に修正した。 なお、準備書で記載した CO ₂ 排出量 は、建設機械の稼働が最大となる 2 ヶ月間の数字であり、正しくは 16.84 tCO ₂ /月であった。	—
第 11 章 環境保全 のための措置 11.3.2 最終処分場 の増設により生じ る浸出水量の増加 に係る対策	P10-8	P11-8～P11-92 ・既存の浸出水処理施設の能力強 化を行わない理由、及びその環境 保全措置について、予測・評価し 分かりやすく記述した。 ・浸出水処理施設の容量等につい て、気候変動に伴う極端な集中豪 雨にあっても対応ができるよう に検討を行った。 ・キャッピングのメリットとデメ リットについて、可能な限り定量 的なデータを用いて予測・評価を 行った。 ・キャッピングシートの点検・補 修・交換など、維持管理手法につ いて、評価書に数値基準などの指 標を用いて具体的に記述した。 ・当該評価結果に基づき、事後調査 計画を見直した。	知事意見及び環境 影響評価審査会意 見による
資料編 資料 7 浸出水集排 水管の管径の検討 について	—	P 資料 7-1～資料 7-9 ・浸出水集排水管の管径について 検討した。 ・内部貯留のリスクについて検討 した。	—